

1 単元名 「三ツ境 CM 隊」

まちのよさを調べたり伝えたりする番組を作り、たくさんの人に見てもらおう。NHK for School の番組を活用し、NHK の方々にもインタビューして番組作りを学ぼう。来年度の三ツ境小誕生 60 年の番組を作って発信しよう！そして、盛り上げていこう！三ツ境小！！

2 単元について

(1) 児童の実態

- 本学級は、意欲はあるものの自分で主体的に活動していくことが苦手な児童が多い。自分たちで積極的に取り組ませるために、いろいろな場面で、グループを組んで意見を出し合い学習を進めている。これまで、2 年生の生活科で、まちを歩いて地域のお店や畑などを学習してきた。3 年生では、「まちたんけん」で地域の商店街や住宅などを地図に表す学習をしている。4 年生では、「二分の一成人式」で、自分たちの成長を保護者に発表する活動を行った。それらの活動を通し、地域に出かけて調べる活動をしたり、インタビューしたりすることで、より深く知ること、相手の気持ちを聞く活動が大切なことだと実感した。来年度は三ツ境小学校が 60 周年を迎えることを知り、5 年生として何か準備しておくべきではないかと考え始めた。そこで、今年度は 60 周年に向けて様々な「人」「こと」「もの」をまとめ、みんなに向けて 60 周年を祝う気持ちをもってもらいたいと考えるようになった。三ツ境小 50 周年記念番組を見たとき、はじめて知ったことや、なるほどと思ったことに興味をもった。60 周年特別記念番組を来年度作ることを想定して、今年はその CM を兼ねて番組作成しようという考えに至った。番組作りでは、NHK の方の協力で、児童は意欲的に活動している。特に NHK for School の番組を活用することで、情報活用の視点が分かり、活動に生かしている。6 月に 40 台のタブレット端末が、横浜市から先行導入された。タブレットのカメラ機能を使い、いろいろな教科・領域での学習に役立てている。

単元に関わる教師の意図

本単元は、三ツ境小学校 60 周年に向けて、来年度 6 年生になる児童が、全校や保護者に「三ツ境小学校」や「支えてくれているまち」のよさを知り感謝の気持ちをもつことがねらいである。

子どもたちの生活は、まちの商店街や公園、自然と密接に関わりあっている。何気なく生活している中で、60 周年を機会に自分たちのまちへ目を向け、さらなる愛着を感じ取らせたい。

今年度は三ツ境小学校が出来て 59 年。来年の 60 周年記念式では、三ツ境小学校や支えてくれるまちに感謝を込めて様々な活動をする予定である。来年度の最高学年として、本年度、三ツ境小 60 周年を伝える番組を作ることにより、全校児童や保護者、地域の方々にも三ツ境小 60 周年を広めることを考えた。

この学習では、自分たちで興味をもった課題解決のため、本年度本校に先行導入されたタブレット端末を活用しながら取材させたい。タブレット端末のカメラで、取材したことを映像で撮影したり、画像を撮ったりすることを通して、情報機器の活用能力も高めさせたい。

また、NHK for School の「メディアのめ」や「伝える極意」などの番組を活用し、NHK for School アワード 2015 に応募することを考えた。取材活動で得た素材をもとに、同じところに興味をもった仲間と、三ツ境のよさをテーマに動画を作り、自分たちオリジナルの動画作りの構成を考え、番組作りの基本を学ばせる。その後、その動画を活用して 60 周年を知らせる番組を作らせる。また、番組を作りにより、視聴者に見たいと思わせる仕組みを考えさせたい。そのために、NHK for School の小学校社会科 5 年「未来広告ジャパン！」を製作している方に、実際に番組作りについて話を伺った。製作側の方々の経験や知識を学ばせていただくことで、本単元の活動に生かしていきたい。

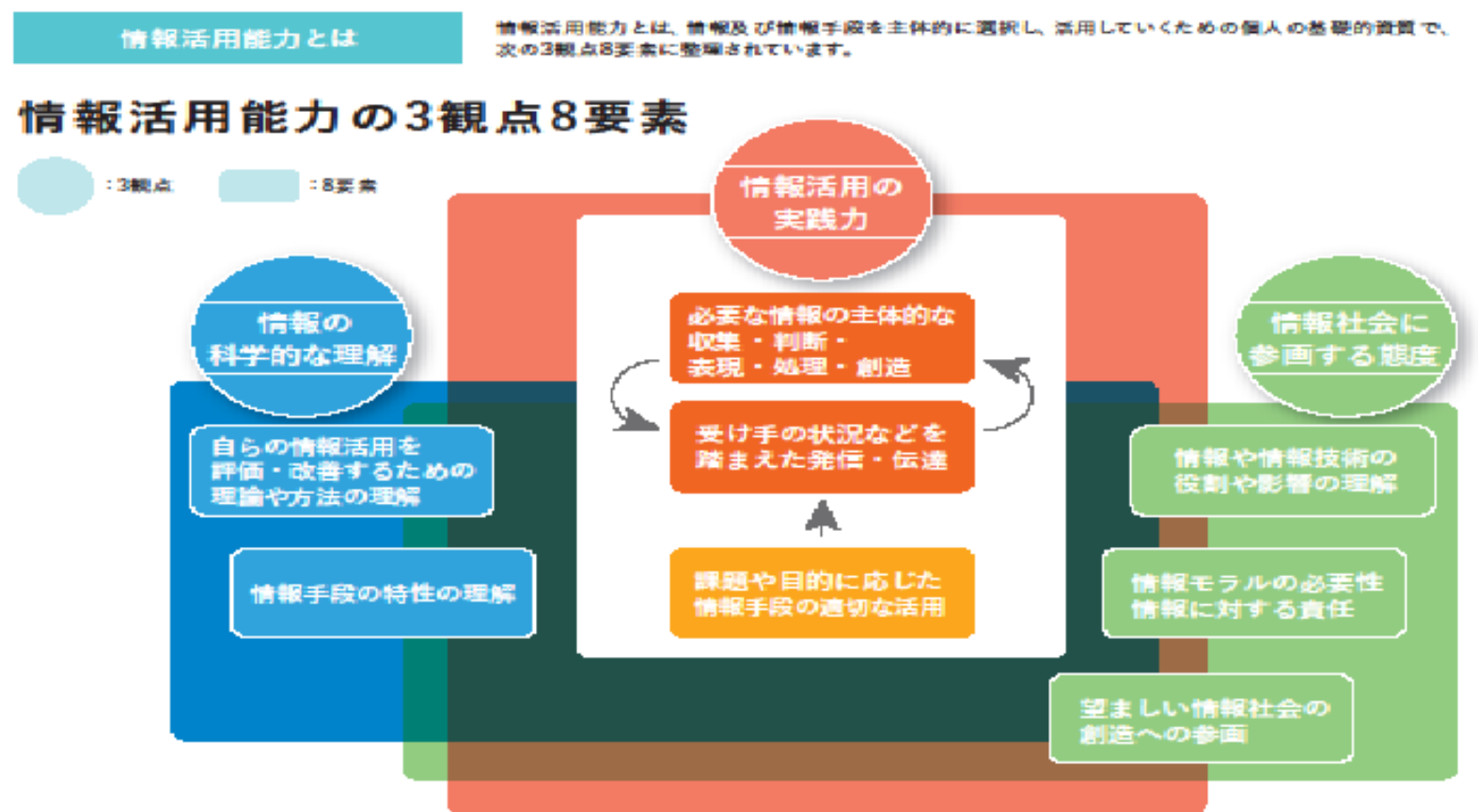
3 研究主題との関わり

平成27年度横浜市情報・視聴覚教育研究会 研究主題
「情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成」

(1) ICT の活用

機器・・・タブレット端末 (Android4.4) PC

(2) 主題に迫る手だて



(情報活用能力育成のために 平成27年3月 文部科学省 より抜粋)

<情報活用の実践力>

- ・必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造

収集にあたっては、学校の図書資料や瀬谷区の図書館・区役所などや、現地での撮影、インタビュー活動など取材を計画。判断・表現・処理・創造については、タブレット端末で撮影や録画したもの、文献資料をまとめ、動画作成を行う。

- ・受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

動画作成の相手意識を保護者と三ツ境小学校児童として、来年度の60周年ありがとうという気持ちをもたせる。

- ・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用

動画を作成するために、NHK for School の積極的に活用するとともに、著作権や肖像権など情報モラルの学習を進める。

<情報の科学的な理解>

- ・自らの情報活用を評価・改善するための理論や方法の理解

グループで協同学習することで、互いの意見を出し合いやすくしお互いの意見を尊重しながら学習を進める。

- ・情報手段の特性の理解

タブレット端末での撮影で、デジタル写真やデジタル動画を撮影することで、デジタル編集のよさと問題点を考えながら、動画編集を行う。

<情報社会に参画する態度>

- ・情報や情報技術の役割や影響の理解

デジタル動画では、さまざまなフォーマットに対応することから、インターネットでの配信を視野に入れて活動する。

- ・情報モラルの必要性情報に対する責任

自分の問題に適切であるかどうかをグループのみではなく、クラスや専門家の意見を取り入れながら考えさせ、修正していく。

- ・望ましい情報社会の創造への参画

本当に必要な情報を扱っているかどうかをクラス全員で見合い、今後の三ツ境小学校の教育活動に役立つ動画づくりを意識しながら、学校のホームページでの配信を行う。また、NHKのコンクールに応募する。

<思考の可視化>

シンキングツールを随所で活用し、思考の可視化を図る。そうすることにより、お互いのやっていることが分かりやすくなり、違うグループの活動にもアドバイスするなど、問題解決の助けとなると考える。

また、ホワイトボードや付箋紙、タブレット端末などで、協同学習を進めていくことで、互いの児童のコミュニケーション力の向上も図られる。それら、思考の過程をファイル(紙)に残しておくことで、これまでの思考の過程をみとることが可能となる。

また、ファイル(紙に)残しておき、活動の振り返りをさせることにより、教師も児童も、新着状況が把握できるし、活動に問題点がでてきていることや、今後、何を進めていくのかが明確になる。このようなことから、「情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成」の実現ができると考える。

4 単元の概要

① 単元目標

三ツ境小学校の60周年の歴史を知り、未来を見据えた番組作りを通して三ツ境小学校や支えてくれているまちのよさに気づき、情報活用能力を生かし探究的な学習活動の楽しさを味わい、学校や地域への愛着を深めることができるようになる。

② 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 課題解決のために適切な手段や内容を選択し、情報を収集する
- イ 収集した情報を整理し、様々な視点から分析したり、推論したりして解決に向けて考える
- ウ 相手や目的に応じて、分かりやすい方法で表現し、伝える

【自分自身に関すること】

- エ 探究的な学習活動の楽しさを味わうとともに自己有能感をもつ

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- オ 三ツ境の先人の努力を知り、三ツ境小やまちの伝統や文化を大切にする

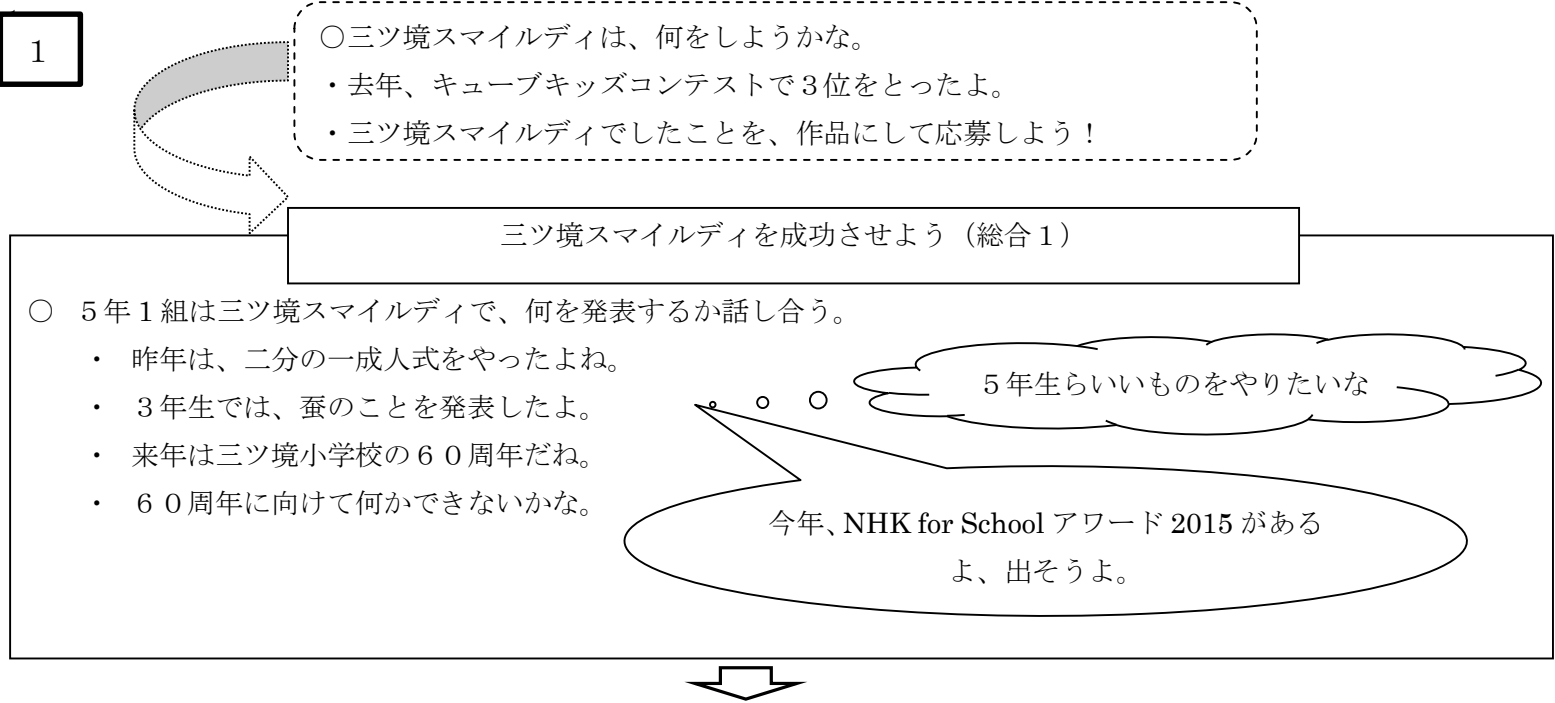
③ 単元で学ぶ内容

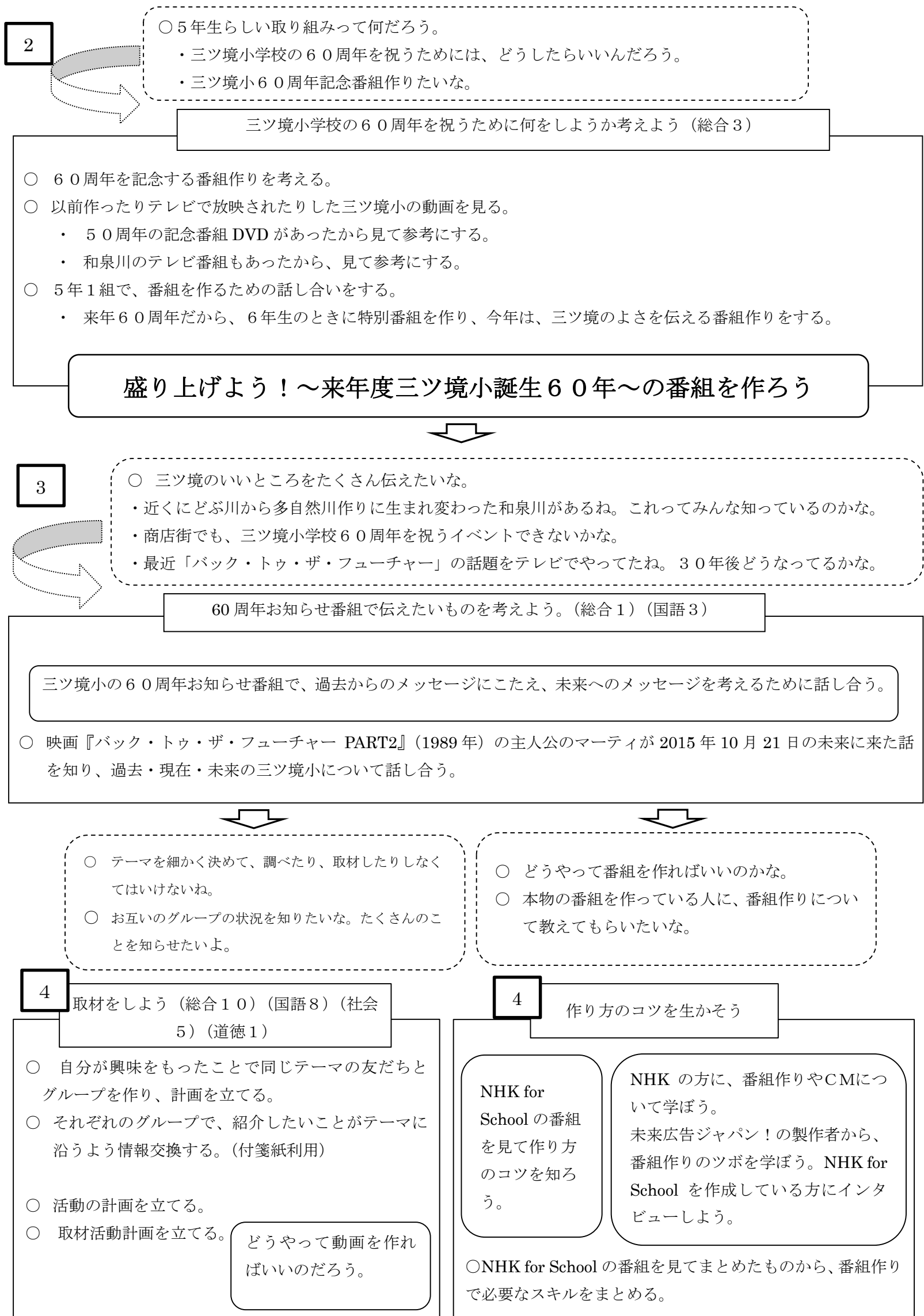
- ア 三ツ境の歴史と三ツ境の未来
- イ NHKや商店街などの職業とその大切さへの気づき、働く人々の喜びと苦労
- ウ 瀬谷区役所や地域住民の営みと自然環境の変化、自然環境を考えた生活の創造

5 単元の評価規準

評価の 観点	学習方法		自分自身	他者や社会との かかわり
	課題設定	思考・分析	自己理解	他者理解
単 元 の 評 価 規 準	①三ツ境小の60周年から学びの可能性を、ウェビングで構想し、KJ法を使い、課題を設定している。 【②－ア】【③－ア】 ②60周年を知らせる番組作りの学習計画を立てている。 【②－ア】【③－ア】 【③－ウ】 ③みんなが取材したものをもとに、60周年を知らせる番組作りの学習計画を立てている。 【②－イ】【③－ア】	①お知らせ番組の内容を考えるために、昔に書かれた図書資料や映像資料から、過去からのメッセージを読み取り、現在と比較することができる。 【②－イ】【②－オ】 ②友達の考えや、取材して得た情報から優先度の高い画像や映像を選び出し、1分動画を作成している。 【②－イ】【③－ア】 ③アンケート結果から得られた情報をもとに、番組にふさわしい画像・映像を精選している。 【②－ア】【③－ア】	①三ツ境の歴史と未来など、伝えたいことがよく伝わるように動画づくりを学び、相手によりよく知らせる番組に関心をもっている。 【②－ウ】【③－ア】 ②NHKの方に出会うことで、自分たちの課題がより明確になり、探究的に解決しようとすることにより、協働で学習する楽しさを味わうとともに、自己有能感をもつことができる。 【②－エ】【③－イ】	①三ツ境の歴史にふれることを通して生じた様々な課題を解決するために、他の児童や区役所・地域の方々などの意見を、取り入れている。 【②－オ】【③－ウ】 ②NHKの方々の番組作成にかかわる話を聞くことを通して、専門家のアドバイスを参考にしている。 【②－エ】【③－イ】 ③自分たちが学んだことを保護者や地域の方々に伝えるために学校ホームページで、作った番組を流し、他者評価を受け入れている。 【②－ウ】【③－ア】

単元構想図 横浜の時間 4 3+時間（総合 2 6 時間 国語 1 1 時間 社会 5 時間 道徳 1 時間）





○ 和泉川の過去や現在を調べる。

・ 昔は溝川だった。里川に生まれ変わったことなどを調べる。

・ ボランティアの方々が、丁寧に掃除していることに気付く。

○ 白姫神社にまつわる現在や過去を調べる。

・ 3年生で既習の蚕の神社だということから広げて昔の産業などを考える。

・ 三ツ境を支えた重要な産業は何だったのか調べる。

○ 校舎などの建物を調べる。

・ 50周年記念誌や、学校にある資料で調べる。

・ 学校にもいろいろな変化があったことに気付く。

○ 商店街の過去や現在を調べる。

・ 50周年のときの番組でインタビューしていた方に再びインタビューする。

・ 60周年を記念するイベントについて考え、商工会議所に提案する。

○ 長屋門公園について調べる。

・ 3年生で調べた経験を生かす。

・ 古い建物がなぜあるのか、取材することで気付いたことをもっと広げる。

○ タブレット端末で撮影する。

* 横浜市配当 Andoroid タブレット

インタビューしようよ

撮影をしようよ

伝えたい材は見つかったかな

○主に活用した NHK for School 番組（情報カード記入）

メディアのめ	写真一枚で世界を切り取れ！	アップとルーズ
	実感！ 音のちから	効果音
	お客の心をつかむ！ ポップの言葉	画像・映像にふさわしい言葉
	話の流れを作る！構成の工夫	伝えたいことをどう撮る？ 構成
	選びぬいてつなぐ！ 映像編集	伝えたいことを映像にする 編集
お伝と伝じろう	プレゼンテーションをしよう	プレゼンテーション
読み書きのツボ	きいた話を伝えよう～再話に挑戦～	インタビューから文章へ
	数えてすっきり～情報の整理・分類～	情報の整理・分類
	事実？意見？～事実と意見を区別する～	情報の整理・分類
伝える極意	ポスターを作ろう！ ～キャッチコピー～	キャッチコピー
	物語を作ろう！ ～組写真～	映像の工夫
	海のあるふるさと ～ビデオ～	取材・シナリオ・撮影・編集
	この1枚に思いを込めて ～写真～	写真の撮り方
	聞きたいことを聞き出すために～インタビュー～	インタビューで気を付けること
知ったク地図帳	第10回 田んぼ	写真5枚での説明
	第8回 商店街	商店街の取材の様子
	第3回 公園	公園はどこに作られているか
	第5回 鉄道	三ツ境駅
	第17回 神社・寺院	白姫神社

○番組を視聴し、分かったことや使いたいコツを、シートにまとめる。

* 情報シート活用

○NHKの方に、番組作りのコツをインタビューする。

5

○三ツ境スマイルディで、地域の人に三ツ境のいいところをみんなに見てもらいたいな。

○いいところを伝える番組を作ろうよ。

三ツ境のいいところが分かる番組を作ろう（総合4）

○自分たちの取材した画像や映像にこだわりをもち、グループで番組を作る。

・ グループで話し合い、自分たちの考えた構成を作ってみる。

・ クラスみんなの意見を聞き、違うグループを参考にする。

・ 編集作業を PC で行う。

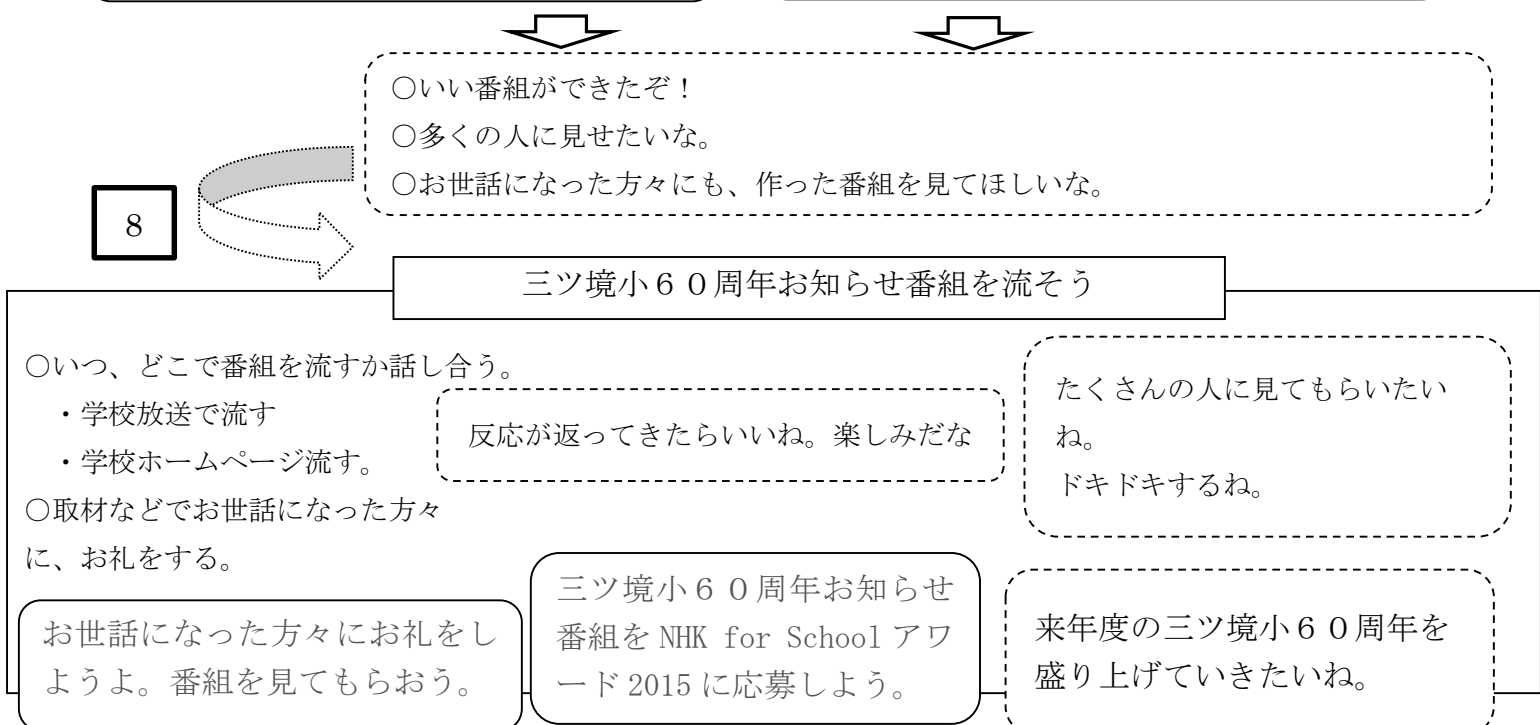
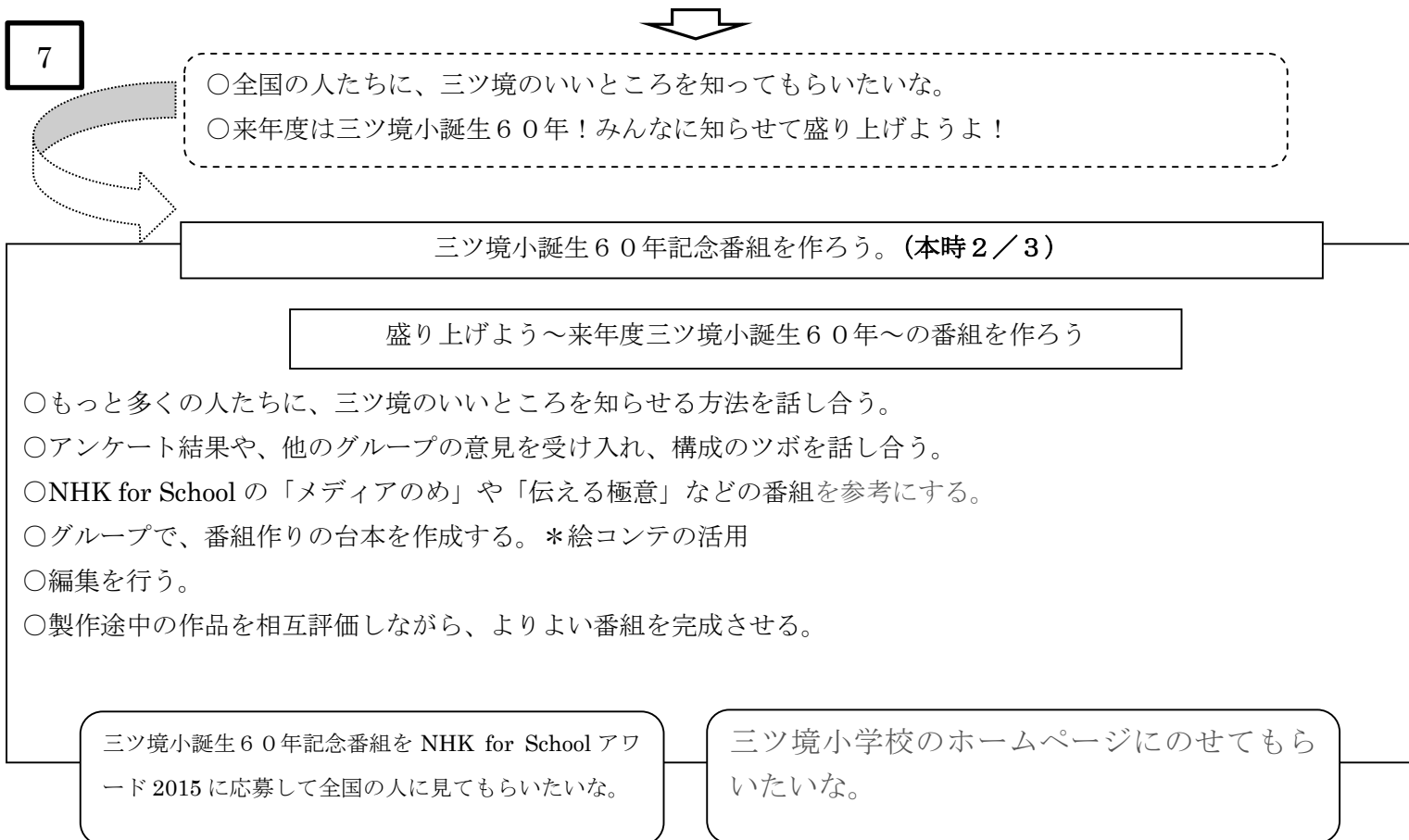
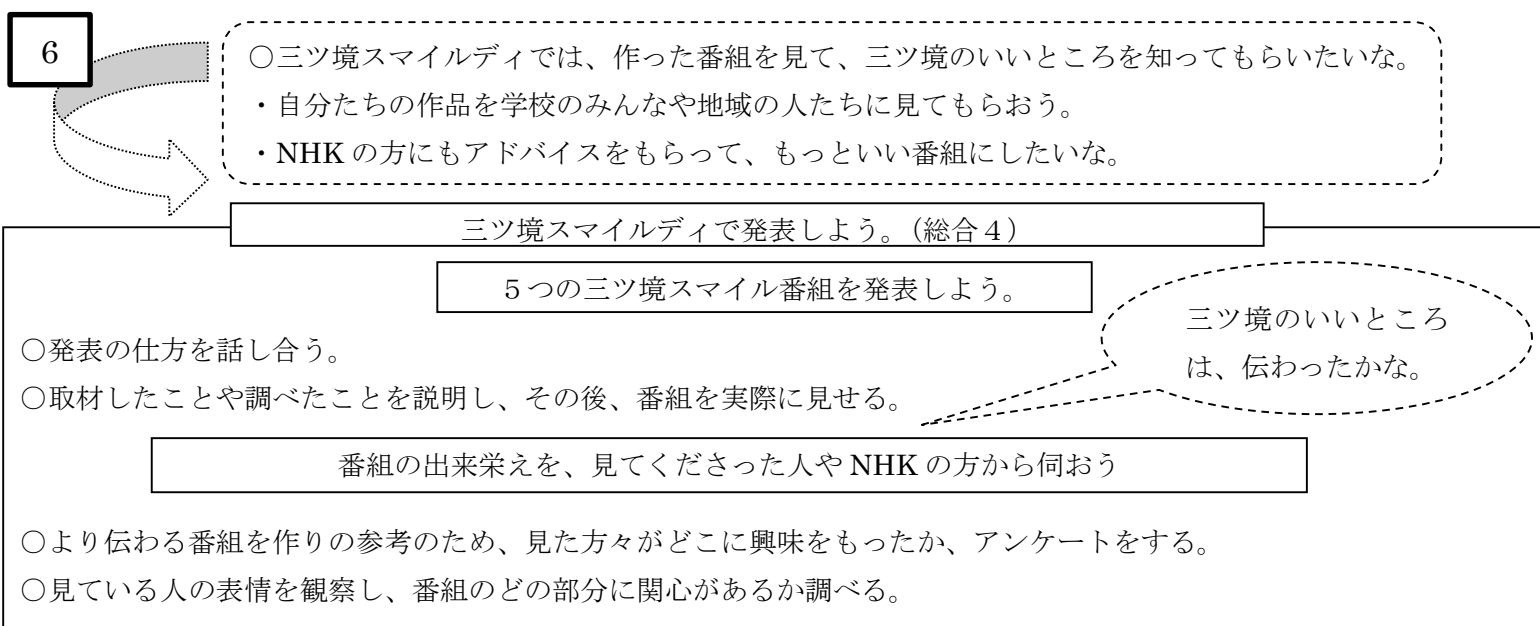
* スズキ教育ソフト（キューブキッズ）

NHKの方々にも、アドバイスをもらおうよ。

やっぱり自分が撮影した動画がメインになってしまうな。

ちゃんとできるかな？コンテストをして、みんなに審査してもらおうよ。

三ツ境小5年 『横浜の時間』－6



(3) 本単元に関わる教科等の内容

教科等名	学習内容	時間数
国語	・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書く。	8
社会	・我が国の産業に関心をもち、産業について意欲的に追及するとともに、自分たちの生活を見つめなおそうとする。	2
道徳	・先人の努力を知り、郷土を愛し、伝統や文化を尊重することの大切さが分かり、自分も郷土を担う一員として伝統や文化を守り、育てていこうとする心情を育てる。	1

8 指導と評価の計画

課＝課題設定 思＝思考・分析 自＝自己理解 他＝他者理解

小単元 (時数)	学習テーマ	主な活動	評価規準及び評価方法	
1 三ツ境スマイルディを成功させよう(総合1)(学活1)	「5年生らしい取り組みになるように話し合おう」	・ 去年は、二分の一成人式をやったよね。 ・ 3年生では、蚕のことを発表したよ。 ・ 来年は三ツ境小学校の60周年だね。 ・ 60周年に向けて何かできないかな。 ・ 三ツ境小学校の60周年を祝うためには、どうしたらいいんだろう。 ・ まずは、三ツ境小が来年60周年だということを、みんなに知らせたいね。	課①	・ 製作物による評価 (ウェビング図)
2 「三ツ境小学校の60周年を祝うために何をしようか考えよう」 (総合3)(学活3)	「三ツ境小学校の60周年を祝うために何をしようか考えよう」	・ 60周年をお知らせする番組作りを考える。 ・ 三ツ境小に関する動画を集める。 ・ 50周年の記念番組DVDを見て参考にする。 ・ 和泉川のテレビ番組を見て参考にする。 ・ 5年1組も、番組を作るための話し合いをする。 ・ 来年60周年だから、6年生のときに特別番組を作り、今年は、お知らせをする。 ・ 「未来広告ジャパン!」を見て参考にする。	課②	・ 製作物による評価 (学習計画表)
3 「60周年お知らせ番組で伝えたいものを考えよう」 (総合20)(国語10)	「三ツ境小の60周年お知らせ番組で、過去からのメッセージにこたえ、未来へのメッセージを考えるために話し合おう」	・ 50周年記念誌から、現在の自分たちに書かれた内容を探し出す。 ・ 過去に作成されたビデオなどの中にも、現在の自分たちに書かれた内容があるか、視聴してみる。 ・ 見つけたことをカードに書く。 ・ 見つけたものを共有し、メッセージについて話し合う。	思①	・ 製作物による評価 (調べたものカード)

4 「取材をしよう」 (総合20) (国語8) (社会5) (学活1)	「取材をしよう」	○自分が興味をもったことで同じテーマの友だちとグループを作り、計画を立てる。 - それぞれのグループで、紹介したいことがテーマに沿っているか情報交換する。(付箋紙利用) - 活動の計画を立てる。 ○取材活動を始める。 - 和泉川の過去や現在を調べる。 - 昔は溝川だった。里川に生まれ変わったことなどを調べる。 - ボランティアの方々が、丁寧に掃除していることに気付く。 - 白姫神社にまつわる現在や過去を調べる。 3年生で既習の蚕の神社だということから広げて昔の産業などを考える。 - 三ツ境を支えた重要な産業は何だったのか調べる。 - 校舎などの建物を調べる。 50周年記念誌や、学校にある資料で調べる。 - 学校にもいろいろな変化があったことに気付く。 - 商店街の過去や現在を調べる。 50周年のときの番組でインタビューしていた方に再びインタビューする。 60周年を記念するイベントについて考え、商工会議所に提案する。 - 長屋門公園について調べる。 3年生で調べた経験を生かす。 - 古い建物がなぜあるのか、取材することで気付いたことをもっと広げる。 ○タブレット端末で撮影する。 *横浜市配当 Andoroid タブレット	他①	・製作物による評価 (思考ツール)
	「作り方のコツ2を生かそう」	- NHK for School の番組から、番組作りのヒントをカードに書いてまとめる。 「未来広告ジャパン!」の制作者から、番組作りのツボを学ぶ。 - NHK for School を作成している方に取材方法やテーマの伝え方・番組構成などをインタビューする。	自①	・製作物による評価 (番組)
			他②	・観察による評価 (行動観察)

5 「三ツ境のいいところを番組にしよう」 (総合6)	「三ツ境のいいところを番組にしよう」	・ 学校や地域の人たちに見せるための工夫を話し合う。 ・ 自分の思いを大切にしながらも、クラスみんなの考えを受け入れ、番組構成を作る。 ・ こだわりの部分は、十分に話し合う。 ・ 光村国語5年「想像力のスイッチを入れよう」の筆者の下村さんからアドバイスをもらう。 ・ 動画作成作業をPCで行う。 *スズキ教育ソフト (キューブキッズ)	課③	・ 製作物による評価 (思考ツール) ・ 製作物による評価 (番組)
6 「三ツ境スマイルディで発表しよう」 (総合3)	「三ツ境スマイルディで発表しよう」	・ 発表の仕方を考える。 ・ 発表は、3つの時間帯で行うので、グループを3つに分け、発表の仕方を考える。 ・ 発表の練習をする。 ・ 自分の作った番組を発表する。 ・ 今後、番組作りの参考のため、見た人は何に興味があったか、アンケートにより調査する。 ・ NHKの方から作った番組の感想をもらう。	他③	・ 製作物による評価 (発表作品)
7 「盛り上げよう～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を作ろう」 (本時2／3) (総合3)	「盛り上げよう～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を作ろう」	・ 全国の人たちに見てもらうための工夫を話し合う。 ・ 来年度の60周年が楽しみなように、NHK for Schoolの「メディアのめ」や「伝える極意」などの番組を参考にして、番組作成の学習計画を立てる。 ・ アンケートをもとにどの取材内容を活用するか話し合う。 ・ グループで、番組作りの台本を作成する。 * 絵コンテの活用 ・ 編集を行い、番組作りをする。	思③	・ 観察による評価 (行動観察) ・ 製作物による評価 (番組)
8 「盛り上げよう～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を流そう」(総合2)	「盛り上げよう～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を流そう」	・ いつ、どこで番組を流すか話し合う。 ・ 学校放送で流す ・ 学校ホームページ流す。 ・ 取材などでお世話になった方々に、お礼をする。 ・ 三ツ境小60周年お知らせ番組をNHK for School アワード2015に応募する。	他③	・ 製作物による評価 (番組・学校ホームページ)

9. 本時の活動展開

(1) 本時目標（目指す子どもの姿）

アンケート結果などをもとにして、自分たちの作る番組にふさわしい画像・映像を選び出すことができる。

(2) 本時の展開

7「盛り上げよう～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を作ろう」（本時2／3）総合

本時の展開	■評価と☆支援
1 本時のめあてを確認する。	☆三ツ境スマイルディで発表した番組や、取材した映像・画像をサーバーに用意しておく。
盛り上げよう！～来年度三ツ境小誕生60年～の番組を作ろう	
2 グループごとに、どんな場면을切り取るか相談しよう。 - 三ツ境スマイルディでのアンケート結果で地域の方々の意見を参考にしようよ。 - NHKの方の意見は貴重だね。参考になるよ。 - 映像の見せ方は番組メモが参考になるね - 実際にパソコンでつながないと分からないよ。 - 全国に向けての発信だから初めて見る人にも分かりやすくしないとイケないね。	☆三ツ境スマイルディでのアンケート結果を用意しておく。 ☆番組の構成を、NHK for Schoolの「未来広告ジャパン！」や「メディアのめ」の番組メモを参考にすることを伝える。 ☆意見が可視化できるように短冊を使うことを助言する。
3 PCで、映像や画像をつなぐ。 - 番組構成表を見ながら、作るといいね。 - 画像は、アップかな。ルーズがいいかな。 - テロップの出し方は、もっとわかりやすい言葉がいいな。 - つないでみたけど、分かりにくいね。 - もう一度つなぎかえてみようか。	☆2の「画像・映像選び」の活動と3の「編集作業」の活動は、行ったり来たりしながら、試行錯誤することが想定されるので、グループに合った声掛けをする。 ■アンケート結果をもとに相談し、画像・映像を選び出している。 【思③】 ☆出てきた意見やポイントを、ホワイトボードに書き込んで掲示する。
4 他のグループの作品を見て、伝わるコツがうまく使われているか相互評価する。 - 分かりにくいところがあるよ。こうするといいよ。 ～がいいね。真似させてもらいたいな。	☆自由に参観し、付箋や書き込みなどで評価を伝える場の設定をする。
5 振り返りと見通し 活動カードに、本時の振り返りや次回することを書く。	